

前号に引き続き「地域の人に伝わる情報発信とは」の第2弾です。

今回は、「見える化」をテーマに、活動の見える化と写真や図の使い方についてお伝えします。

## 活動を「見える化」しよう！

自治会・町内会の活動を知って理解してもらうには、継続した情報発信が必要です。大きなイベント・行事だけではなく、日々の活動の様子も合わせて発信をしていくことで、活動への理解を得ることにつながります。

活動を見える化することで…



運営側

- 活動内容の整理
- 活動の見直し
- 引継ぎの資料として活用



住民

- 地域の活動を知る  
→ 活動への理解と参加

などの効果が期待できます。

## テーマごとに取組み紹介！

見える化の一つの方法として、防犯や防災、清掃、交流など、活動をテーマごとに分けて紹介してみてもいかがでしょうか。

自治会・町内会で取組んでいる活動は多岐に渡ります。その内容をすべて一度で伝えようとすると、概要のみになってしまい、「かえって取組みがよくわからない」という結果になってしまうことも。テーマごとに分けることで、より詳しい内容を伝えることができます。

例えば

### 活動報告のチラシを作成

**2**  
防犯編

#### 2丁目自治会 活動報告

2丁目自治会では、みなさんが安心して暮らせる住みよい地域にするために活動をおこなっています。そんな自治会の活動を知っていただくため、テーマごとに活動を紹介していきます。第2弾は防犯編です。

##### 防犯灯等の設置について

防犯灯とは、夜間の犯罪防止や歩行者の安全通行のために、自治会が費用を負担して設置・管理している照明灯です。



2丁目自治会では、  
○の箇所に防犯灯を設置しています。

電灯が切れているなどお気づきの方は  
○へお知らせください。



##### 防犯パトロールを実施しています

毎月2回防犯パトロールを行っています。  
防犯委員のメンバーを中心に、毎回10名程度で町内を見回ります。  
時間は〇時～〇時です。

活動写真	活動写真	お問合せ先 防犯委員会 担当：〇〇 〇〇 TEL:XXX-XXXX-XXXX
------	------	---

テーマごとに活動内容をまとめたチラシを作り、回覧や配付、掲示、Web媒体などで周知する。

#### 【内容】

○自治会の概要

○防犯

- ・設置している防犯灯の位置や危険な箇所を載せた地図
- ・パトロールの様子

○防災

- ・避難場所
- ・地域で準備している避難物資と家庭で準備しておいたほうが良いもの

など



テーマごとにすることで、住民の方が関心がある内容を見てもらいやすくなります。



作成したものをまとめておけば、新しく転居してきた方に地域のことを知ってもらうツールとしても活用できます。

# 情報を視覚化しよう！

突然ですが、質問です。

下に防犯灯新設のお知らせ記事が2種類あります。AとB、どちらがわかりやすいでしょうか。

A

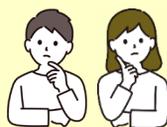
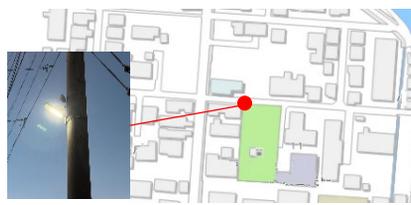
お知らせ

7月×日、新しく防犯灯を設置しました！  
場所はきりん公園（2丁目X-X）の前の道路です。

B

お知らせ

7月×日  
きりん公園（2丁目X-X）の前の道路に新しく防犯灯を設置しました。



「Bのほうがわかりやすい」のではないのでしょうか。

Aは、『きりん公園』を知らない人にはまず場所が伝わりません。一方、Bは地図を見れば大体の場所がわかります。また、実物の写真を添えることで、「これが防犯灯か」と地域の方に認識してもらうこともできます。

## 写真や図を使って効果的なお知らせを

画像は文字のみの場合に比べて、瞬時に情報を理解することができ、記憶に残りやすいと言われています。

上の図で示したように、文章に写真や図などの画像を一緒に載せることで、お知らせもより伝わりやすくなります。これは紙媒体、Webツールどちらを使う場合でも同じです。

例えば、「場所のお知らせをするときは地図を必ず入れる」、「行事の報告には当日の写真も掲載する」、「町内会費の支出報告を円グラフにしてみる」など、少しずつできるところから試してみてもいいでしょうか。



### 写真や図があると…

- ・目に留まりやすい
- ・一目で情報を理解しやすい
- ・記憶に残りやすい

### ※写真や画像を使う時は肖像権や著作権に注意！

**肖像権**とは、自分の顔や姿を勝手に撮影されたり公表されたりしない権利です。

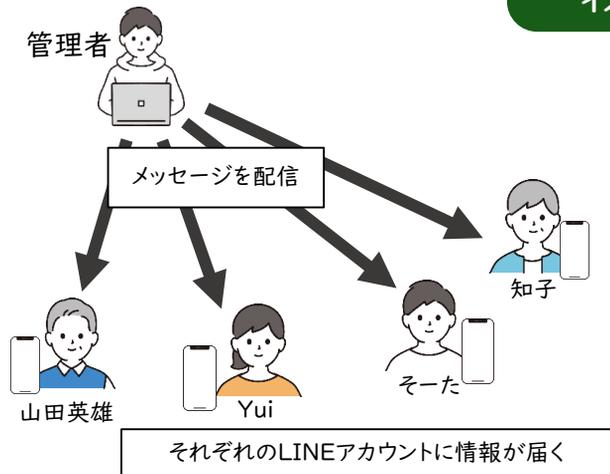
写真の掲載を予定しているときは、事前に参加者に掲載の了解をとりましょう。祭りなど不特定多数の人が参加するときは、顔が写らないように配慮するか、モザイクなどで加工し顔がわからないように配慮しましょう。

**著作権**とは、作品を創作した人が持つ権利です。自分自身で撮影した写真や作成したイラストなどを使用することは問題ありませんが、インターネット上の写真や画像を保存し利用することはできません（フリー素材サイトは、各サイトの規約に従ってください）。また、校区の方が撮影した写真などを使用する場合には、原則として本人に許可をとりましょう

# LINE公式アカウントとオープンチャットの違いって？

## LINE公式アカウント

町内会の公式アカウントと「友だち」になった人に向けてメッセージを配信します。



### できること

- ① 友だち登録をしてもらった相手に向けて一斉にメッセージを送信できます。
- ② チャット機能で1対1のやりとりをすることができます。
- ③ 任意の相手に管理者権限を付与し、複数人で管理ができます。
- ④ 自動で応答するメッセージを設定でき、よくある質問への回答の手間を減らせます。
- ⑤ クーポンやポイントカードを作成できます。

### 注意点

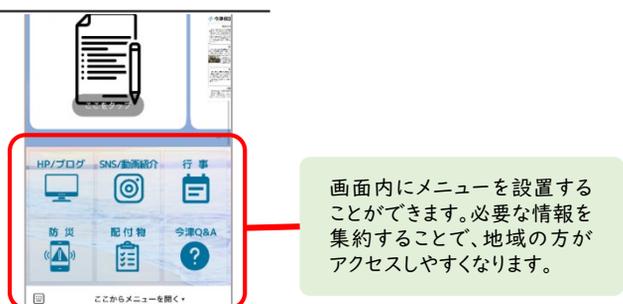
- 配信メッセージ数によって費用が発生します（一部機能は無料で利用できます）。

	コミュニケーションプラン	ライトプラン	スタンダードプラン
月額（税別）	0円	5,000円	15,000円
無料メッセージ通数（月）	200通	5,000通	30,000通

- パソコンからしか操作ができない機能があります。

### 閲覧画面

※今津校区自治協議会のアカウントより一部表示

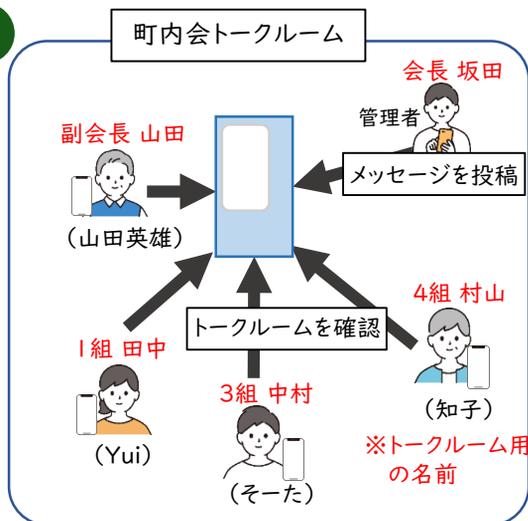


「LINE公式とオープンチャットってよく聞くけど何が違うのかわからないんだよね」とお悩みの方に、それぞれでできることや注意点をまとめました。

## LINEオープンチャット

町内会のトークルームに参加した人にメッセージを送ったり、参加者同士でやりとりができます。

### イメージ図



### できること

- ① 参加者は任意の名前で参加することができ、住民同士が友だちになる必要はありません。

参加する際に、ニックネームとアイコンを設定します。普段使っているアカウントの情報は公開されません。



- ② 写真・ファイルなどを共有できます。
- ③ イベント機能でスケジュールの共有や参加確認ができます。
- ④ 任意の相手に管理者権限を付与し、複数人で管理ができます。
- ⑤ 無料で利用できます。
- ⑥ 不特定多数が参加しないように承認制にしたり参加コードを設定することができます。

### 注意点

- メッセージはトークルームに投稿されるため、1対1でやりとりすることはできません（ルームに参加している全員が見れます）。
- トークルーム内に広告が表示されます。
- LINEのIDや電話番号などの個人情報は投稿できません（自動で削除されます）。
- 共通のルールを決めることで安心して運用できます。

### 閲覧画面



# デジタル広報講座 レポート



西区地域支援課では、自治会・町内会向けにデジタル広報講座を行っています。  
今回は、7日7日(月)に石丸2丁目自治会で実施した講座の様子をお伝えします。

石丸2丁目自治会は約1,400世帯、約3,000人が暮らしています。自治会の加入率が年々低下する中で、自治会の大切さや取組みを多くの人に知ってもらいたいという思いからこの講座を受講されました。



## 1) 地域の課題ややりたいことを共有

はじめにどんな広報をしたいか意見を出し合いました。

### 【主な意見】

- ・自治会の大切さを若い人に知ってもらいたい。
- ・SNSや電子回覧板を導入し、効率的に情報発信したい。
- ・イベントの告知や様子を周知し、自治会活動に参加していない人にもその魅力を知ってほしい。

## 2) 先進事例とツールの紹介

かみしだみ

次に、先進的な広報に取り組む名古屋市上志段味自治会の活動を紹介したYouTube動画を視聴し、デジタル広報のイメージを深めてもらいました。

そして「地域のデジタル発信応援BOOK」を活用し、広報に有益なツールを紹介しました。他自治会で活用されている事例も踏まえ、LINE公式アカウントやオープンチャット、電子回覧板の機能などについて説明しました。



「地域のデジタル発信応援BOOK」は右の二次元コードからご覧いただけます



自治会・町内会の運営にデジタルツールを導入することで、迅速な情報発信や運営の負担軽減に繋がります。  
導入に向けた第一歩として、ぜひデジタル広報講座をご活用ください。

まずは地域支援課へご連絡ください!



## 3) これからやってみたいこと

各ツールの特徴やメリット・デメリットなどを共有し、活用の可能性について話し合いました。

### 【石丸2丁目自治会 田代会長のコメント】

- ・今回の講座をきっかけに、広報の実行委員会を立ち上げたい。若い人に参加してもらえると良い。
- ・これから何回か検討しながら石丸2丁目自治会の情報や魅力を発信する広報を実現していきたい。

### 事例紹介

## 上志段味自治会(名古屋市守山区)

14の地域自治会で構成、会員約2,200世帯

自治会のIT化に取り組むため、回覧板で人材を募集。WEBデザイナー等2人の協力者を加えて自治会内にIT推進委員会を設立し、ホームページとLINE公式アカウントを運営しています。

また、できる人ができる時にゆるく自治会活動をサポートする「ゆるサポ」をたちあげ、自治会活動の活性化も実現している先進的な自治会です。



上志段味自治会 ホームページ(PC表示)



↑上志段味自治会ホームページはこちら

### 【連絡先】

西区 地域支援課(西区役所3階 55番窓口)

地域広報アドバイザー 藤野ゆかり

電話 : 092-895-7036

メール : fujino.y10@city.fukuoka.lg.jp